

第56号

しまらや杉

川之石高校PTAだより

令和6年12月20日発行

発行／川之石高校PTA

編集／川之石高校PTA広報委員会

印刷／平家印刷

川之石高校 HPアドレス

<http://kawanoishi-h.esnet.ed.jp/cms/>



QRコード

体育祭 9月7日(土) 総合優勝・応援優勝 猛虎



猛虎団長のコメント



今年の体育祭は、三年間で一番楽しむことができました。全力で猛虎団全員が勝負し、全力で楽しむことができよかったです。不安なこともたくさんあったけれど、他のリーダーやクラスメイト達が支えてくれて、団長という役目を最後までやりきることができました。そんな仲間たちと、最高の体育祭を作り上げることができ、総合優勝もすることができて本当にうれしかったです。高校最後の体育祭が猛虎団で本当によかったです。みんな本当にありがとう。(池田 梨音)



総合2位 競技優勝 青龍



青龍団長のコメント

今回の体育祭で、仲間を思う大切さや勝負にける思いなど、とてもたくさんのことを学びました。

三年次生は貴重な夏休みの期間を使って、装飾・応援・衣装ともに最高のものに仕上げてくださいました。後輩たちも三年次生の熱をも超えそうな勢いで頑張ってくれてとても嬉しかったです。

総合優勝はできませんでしたが、青龍団全員が盛り上がり、最高の思い出になりました。

最後になりますが、この体育祭ができることに感謝し、これからの学校生活をより良いものにしていきます。(井上 翔)



総合3位 集団演技・装飾優勝 紅炎



紅炎団長のコメント

百十周年を迎えた川之石高校の今年の体育祭は、川高らしさにあふれたとても良いものになったと思います。それは、各団、各リーダーがそれぞれ自分の役割を果たし、盛り上げようとした結果ではないでしょうか。

準備の段階では大変なこともありましたが、終わった後には「楽しかった」と思える体育祭でした。私は三年間共に過ごしてきた同級生とこの行事を作り上げられたこと、そしてその三年次生の熱に一、二年次生がついてきてくれたことが何よりも嬉しかったです。

学校全体を盛り上げたこの熱が、これからの川高でも現れてほしいです。(坪田 琉空翔)



川高生大活躍！

陸上競技部 3年次 岡田 佳乃

●令和6年度全国高等学校総合体育大会陸上競技大会 秩父宮賜杯 第77回全国高等学校陸上競技対校選手権大会

女子5000m競歩 3位 23分32秒01

(県新記録、県高校新記録、県U20新記録)

●JOCジュニアオリンピックカップ 第18回U18陸上競技大会

女子3000m競歩 3位 13分35秒17

(県新記録、県高校新記録、県U20新記録)

インターハイでは目標としていた3位入賞を目指して最後まで粘り強く歩きました。レース中、仲間や先生方の声援が支えとなり、自分の限界を超える力を引き出すことができました。結果は3位入賞と目標を達成することができ、とても嬉しかったです。また、U18大会では、自己ベスト更新と3位入賞をすることができ、去年の自分より成長した姿を見ることができたので良かったです。



報道部

第2回まちづくりヒーロープレゼンコンテスト ヒーローPR大賞 (愛媛県教育委員長賞)

3年次 櫻谷 幸志郎・河野 葵・高橋 月奈

1年次 菊池 心希・長山 未来

私たち川之石高校報道部は、今年の夏、「まちづくりヒーロープレゼンコンテスト」に出場しました。この大会は、街のヒーロー取材プレゼンする大会です。プレゼンに寸劇を取り入れた点やヒーローが身近な点が評価され、愛媛県教育委員長賞・ヒーローPR大賞を受賞することができました。夏休みからみんなと練習に励んで大変だったこともあり、受賞した時はとてもうれしかったです。この大会を機に報道部員の地元愛が一層高まったように思います。そして、部員たちの団結力も深まりました。今後は、この大会の目的でもある地域活性化にも目を向け、小さいことからでもいいので地域に貢献していこうと思います。(櫻谷)



書道部

第49回ふれあい書道展 筆都大賞 3年次 菊池 優香

私は、今回初めて「開通褒斜道刻石」の臨書に挑戦しました。書き慣れない書体で、初めは上手いきませんでした。毎日の積み重ねで納得のいく作品を仕上げることができました。それが筆都大賞という成果となって現れたことを、とても嬉しく思います。これからも書道を楽しんでいきたいです。



第25回高校生国際美術展 (書の部) 奨励賞 3年次 笹田 りん

国際美術展に出品し、このような素晴らしい賞をいただくことができ、とても嬉しく思います。今回初めて「鄭義下碑」の臨書に挑戦しました。苦戦することが多く、少しでも失敗すると、諦めなくなる時も正直ありました。そんな私に、筆使いや細かい部分まで丁寧に指導して下さった先生にはとても感謝しています。自分の納得のいく作品に仕上げることができて良かったです。



福祉

第3回 四国地区高校生 介護技術コンテスト 優秀賞受賞！

3年次 井上 聖陽・池田 優月・林田 史也

介護技術コンテストでは、課題が当日に伝えられ、生徒だけで考えてコンテストに臨むためとても不安でした。本番に向けて実習期間中も帰校し、限られた情報をもとに様々な場面を想定しながら、仲間と意見を出し合い練習をしてきました。本番では、想定していた課題と違い少し焦りましたが、練習してきたことを思い出して実践することができたと思います。全国大会を逃してしまい悔しかったけれど、他校の介護技術をみて学ぶことができたので、良い経験になりました。(池田)



編集後記

(この編集後記は10月に書かれました)
 暦の上では、秋。秋と言えば、○○の秋と言いますが、今の時期は、やはり、スポーツの秋ではないでしょうか。今年も秋晴の中、行われた創立110周年記念体育祭では、『進取果敢 若き力で長き伝統と新たな歴史がここに』のスローガンのもと、1年次生は初めての体育祭、3年次生は最後の体育祭、2年次生は引張つていかなきゃならないポジションに就き、準備、応援練習、装飾と忙しい日々。オリジナルTシャツを着用し、競技や応援合戦など生徒や先生方が、一丸となって盛大に盛り上がりました。
 そして、10月。2年次生は予定通り3泊4日の修学旅行を満喫したようです。高校生活も折り返し地点になり、我が子も進路に悩み、迷走中ですが、高校生活で得たものを将来に生かしてもらえればと思います。人生一度きり、楽しんだもの勝ち、ポジティブに、かつ、アクティブに後悔のないよう有意義に過ごせるように、先生方のご指導をよろしくお願いします。